

第10回中国大学生「走近日企・感受日本」 訪日団報告書の刊行にあたって

「走近日企・感受日本」事業は、中国日本商会が2007年から始めた中国人大学生を日本視察に招待する社会貢献事業です。未来の中国を担う若い世代に日本及び日本企業を知つてもらうことを目的に、中国日本商会の総意で実施が決議され、会員有志企業の寄付金によって費用を賄い、過去9回の訪日団で28大学264名の学生を日本に招待しました。

第10回目となる今回は、中国農業大学、北京交通大学、首都師範大学、国際関係学院、中国伝媒大学の5大学から日本に行ったことのない学生30名を選抜して2012年5月28日から6月6日までの10日間、日本に滞在しました。また、5月21日に開催された壮行会には、第7回から9回の訪日団に参加した学生も参加し、交流の輪がさらに広がりました。

視察先は企業では、ワコール本社(京都)、ヤマハ発動機(静岡)、資生堂鎌倉工場(神奈川)、日本郵船冰川丸/歴史博物館(神奈川)、三菱商事本社(東京)、JR東日本本社(東京)、三菱東京UFJ銀行(東京)、ニューオータニホテル(東京)の8社です。その他、中国大使館訪問、静岡県農林技術研究所見学、農林大学や日本の大学生との交流、日本のソフト産業であるアニメ「ワンピース」展示会の見学、一泊二日のホームステイ体験など多岐にわたるプログラムが組み込まれています。ホームステイ受け入れに協力いただいた企業は15社(アルプス電気、伊藤忠商事、キヤノン、JTB、新日鐵、住友商事、全日空、トヨタ自動車、日中経済協会、日本航空、日立、丸紅、三井物産、三菱商事、三菱東京UFJ銀行)にのぼっています。

このように「走近日企・感受日本」事業は、中国日本商会の会員企業の協力によって実施されています。また、共催団体である中国日本友好協会にも全面的な協力をいただいており、訪日団の日本受け入れ、本報告書の編集にあたっては、一般財団法人日中経済協会にご尽力をいただいております。加えて、寄付金の管理につきましては、中国側では中国友好和平発展基金会に、日本側では一般財団法人貿易研修センターにご協力をいただいております。改めて、本事業実施にご協力、ご尽力をいただいた皆様に厚くお礼を申しあげます。

本報告書に寄せられた参加学生のレポートを拝見いたしますと、本事業が学生たちに深い印象を残していることが分かります。本報告書をご一読いただき、日系企業の社会貢献活動の一端と中国の若者たちの真摯な、活気にあふれた姿に触れていただければ幸いです。

第1弾として5年にわたる合計10回の派遣事業は今回で終了となりましたが、中国日本商会では再度会員企業に寄付金を募り、第2弾として今後3年間にわたる合計6回の「走近日企・感受日本」事業実施を決定しました。

本事業が日中相互の国民レベルでの理解促進の一助となり、将来さらに大きな実を結ぶことになれば、これに優る喜びはありません。

中国日本商会 会長 小関秀一

2012年7月